# 基本

## 箇条書き

call 別のバッチファイルを実行して，戻ってくる

## 基本中の基本

echo; 改行

rmdir

オプション

/s 下位ディレクトリ含めて削除

/q 下位ファイルなどを削除する際の確認メッセージを表示しない

cd

cd /d d:\ :: Dドライブへの移動

## メタキャラクタ

%~p0 引数%0（＝バッチファイル自身）のフォルダパスを得る（フルパス）

　%~変数名 「""」ダブルクォーテーションを除く

　%p変数名 最後のファイル名を除く

: 置換を行う

%path:;= / % :: 「;」を[/] に置き換える

^ で特殊文字はエスケープできる。

set unitname=^<Yamada^&Satou^>

## 変数(SET)

変数の使い方

set var1="hoge" :: 代入はSETを使う

echo %var1% :: 使うときは %%で囲う

set var1=%var1%"fuga" :: 追加する

他の具体例

echo %~dp0 :: 実行パスの取得

SET オプション

/A 式 対象が数式である事を指定する

/P 変数=[プロンプト文字列]

## ディレクトリの指定

### カレントディレクトリ

%~dp0

%0 1つ目の引数を表す。cmdの場合，第一引数が自身のファイル名。

~ ドライブパスから「”」 を取り除く。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
|  | 意味 | 例※ |
| %~d0 | %0をドライブ文字だけに展開 | C: |
| %~p0 | %0をパス名だけに展開 | \data\ |
| %~n0 | %0をファイル名だけに展開 | script |
| %~x0 | %0をファイル拡張子だけに展開 | .cmd |
| %~dp0 | %0をドライブ文字とパスだけに展開 | C:\data\ |
| %~nx0 | %0をファイル名と拡張子だけに展開 | script.cmd |

例はファイル名が C:\data\script.cmd の場合

注意点

%~dp0”\subdir” などとすると，~の効果で %~dp0\subdir” とみなされてしまう。

#robocopy %~dp0\sub %target%"\sub" #

robocopy %~dp0\sub %target%\sub # 方法１： " なしで対応。（path文字列に空白が無い場合）

robocopy **“**%~dp0\sub d**”** “%target%\sub d” # 方法２： 結合した文字列の外側を " で囲む。

変数の使い方が独特。下の例を参照

set current\_dir=%~dp0

"%current\_dir%tests" :: これはOK

%current\_dir%"tests" :: これはNG

## コピー系

### robocopy

文字化け

robocopyでのパス指定時，日本語で指定したい場合はShift-JISしか対応していないらしい。

テキストをShift-JISで保存し，現在のコードページも変更する必用がある。

オプション

/xf 指定した文字列を含むファイルをコピー対象から除外する。（例）/xf \*.jpeg

/xd 指定した文字列を含むディレクトリをコピー対象から除外する

## ループ

基本

FOR /L %%N IN (0, 1, 3) DO echo %%N :: ループ変数Nを初期値0，ステップ1，3になるまで

:: C的に書くと，for(int n=0; n<= 3, n+=1)

forのオプション

/d ディレクトリ（フォルダ）名を対象にとる

/r ディレクトリ名及びそのサブディレクトリ内を対象にとる

/l 値を指定して代入する

/f テキストファイル内の文章に対してトークンを取り出して代入する

## 条件

if (not) 文字列Ａ==文字列Ｂ コマンド

if exist %target% (

echo 対象ディレクトリ有り。

) else (

echo 対象ディレクトリ無し。⇒作成。

mkdir %target%

)

and

if %neko%==1 if %nya%==2 echo OK

## OS関連

定義済変数

OSのbit数

"%PROCESSOR\_ARCHITECTURE%"

値："x86"

使用例

if "%PROCESSOR\_ARCHITECTURE%" equ "x86" (

echo この端末の OS のビット数は "32bit" です。

) else (

echo この端末の OS のビット数は "64bit" です。

)

# ネットワーク関連

ホストまでの経路表示

tracert

使用例

tracert www.google.co.jp

## ネットワーク設定

NET　コマンド

※管理者権限での実行が必要

サーバ・サービスの表示又は変更

net config server

## DNS → IP

nslookup [ DNS ] ※IPアドレスやNetBios名

## IP → DNS

nbtstat -A [ IP ]

## ホストまでの経路表示

tracert

使用例

tracert www.google.co.jp

## ネットワーク設定

NET　コマンド

※管理者権限での実行が必要

### サーバ・サービスの表示又は変更

net config server

# 管理

takeown ファイル、ディレクトリの所有者を自分に変更

オプション

/F 強制？

cacls アクセス権の設定・表示をする

runas 別のユーザーとして実行

runas /user:administrator cmd

sfc

sfc /scannow

# Command Promptの情報

## 文字コード

文字コードはcmdの黒画面を右クリック→コードページ　で確認できる。

テキストファイルもそれに合わせないと文字化けする？

CHCP

現在の文字コードを変更する。

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| 番号 | 短い名前（.NET） | 詳細 |
| 932 | shift\_jis | ANSI/OEM Japanese; Japanese (Shift-JIS) |
| 20127 | su-ascii | US-ASCII (7-bit) |
| 51932 | euc-jp | EUC Japanese |
| 65001 | utf-8 | Unicode (UTF-8) |

## 管理者権限で実行

「ファイル名を指定して実行」でCtrl＋Shift でエンター押すと管理者権限になる